

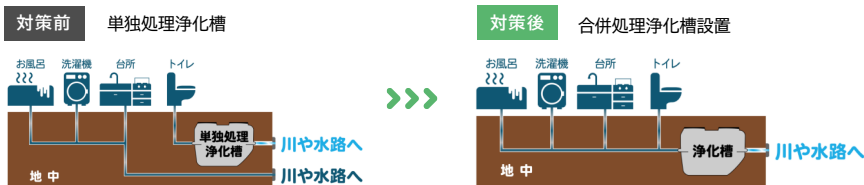
浄化槽に関する対策【環境省】

施策概要 災害に強く早期に復旧できる合併処理浄化槽の整備を推進

効果 災害時においても汚水処理機能が長期にわたり停止することを回避し、公衆衛生と生活環境を保全

全国的な対策と効果

対策 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を実施



| | 単独処理浄化槽 | 合併処理浄化槽 |
|---------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 特長 | 家庭のし尿のみを処理し、生活雑排水はそのまま放流される(※H13から新設禁止) | し尿と生活雑排水を一体的に処理する。 |
| 地震への強さ | 老朽化しているものも多く被災により破損するおそれがある | 比較的新しいものも多く、老朽化した単独処理浄化槽に比して破損のリスクは低減される |
| 復旧のしやすさ | 修繕や部材調達が困難である場合が多く、復旧が難しい | 長い管きょが不要である浄化槽は、全損率が低く応急措置により個別に復旧しやすいため、比較的復旧が早い等、災害への対応力が高い |

5か年加速化対策の効果

【浄化槽人口普及率の変化】

| 都道府県 | R1年度末浄化槽整備区域内の浄化槽人口普及率(%) …A | R6年度末浄化槽整備区域内の浄化槽人口普及率(%) …B | 改善率(%) …B-A |
|------|------------------------------|------------------------------|-------------|
| 滋賀県 | 59.1 | 79.2 | 20.1 |
| 神奈川県 | 44.6 | 56.4 | 11.8 |
| 福島県 | 58.0 | 68.5 | 10.5 |
| 大阪府 | 54.1 | 63.3 | 9.2 |

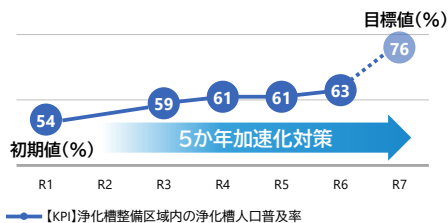
※全国平均はR1年度末55.7%→R6年度末62.5%

予算額(国費)(加速化・深化分)

| R3 | R4 | R5 |
|------|-----|------|
| 10億円 | 5億円 | 5億円 |
| R6 | R7 | 累計 |
| 5億円 | 5億円 | 30億円 |

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

目標達成の見通し



整備事例

災害に強い浄化槽の整備により、公衆衛生と生活環境を保全する



福岡県大牟田市



福岡県大牟田市



浄化槽整備事業

老朽化した単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への更新



事業費

0.34億円 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.28億円)

事業の背景(地域の課題)

大牟田市においては、過去に、台風や集中豪雨による風水害あるいは土砂災害等が発生しています。これらの災害時に浄化槽が被害を受けると、汚水処理機能が停止し、公衆衛生及び生活環境の保全が確保できなくなるおそれがありました。

事業の内容

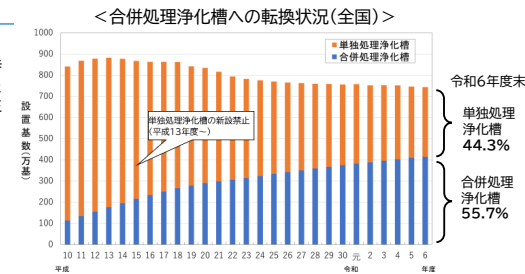
合併処理浄化槽^{※1}は、既設の単独処理浄化槽^{※2}よりも災害に強く、早急に復旧できることから、転換促進を図る必要があります。大牟田市の地域計画では、R2年からR6年までの5年間で整備計画人口2,676人、整備計画基数892基の合併処理浄化槽への移行計画が記載されており、下水道計画区域外の住宅に対する浄化槽設置費補助の交付により、合併処理浄化槽の設置促進を支援しました。

※1 合併処理浄化槽は分散処理のため、長い管きょは不要であり、地震等の災害への対応力が高い汚水処理施設です。過去の震災においても、合併処理浄化槽の破損率は低く、また、全損率が低いため、応急措置により個別に復旧しやすいという特徴があります。

※2 老朽化した単独処理浄化槽は変形や破損等が多く見られ、災害によって深刻化すると未処理の汚水が外部へ漏出し、地下水・井戸水等に悪影響を与えます。

見込まれる効果

合併処理浄化槽への更新により、災害時においても汚水処理機能が長期にわたり停止することを回避し、公衆衛生と生活環境の保全を図ります。



(1) 人命・財産の被害最小化

(2) 交通・ライフラインの維持

2 インフラの老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化